**わがまち企業訪問　Vol.13　菅原工務店**

市内の企業では、どのような製品やサービスが生産され、どのような人が働いているか。企業の思いと働く人の情熱を紹介します。

**時代とともに育つ　「あたたかい家」の提案**

　株式会社菅原工務店は、地域の工務店として、一貫して「あたたかい家づくり」を目指し、地域とともに歩んできました。　今年、創業45周年を迎えましたが、時代の変化とともに生活スタイルも変わり、家づくりにも変化があるといいます。

　今から20年以上も前になると、三世代が住める広い和室続きの大きな家が建てられていましたが、近年は、大きさよりも住みやすさ、使いやすさが重視されています。

　家を建てる人が若い世代になり、より女性目線に変わってきているそうです。例えば、キッチン周りや収納スペースなど、動線と便利さを求める声が増え、より家事が円滑になる家づくりが求められています。

　菅原工務店では、そういった要望に応えられるコンパクトで快適なあったかい家、燃費がいい家を提案しています。

　あたたかい家は、省エネで家計の負担軽減にもつながります。昔は冬になると石油ストーブなどで部屋ごとに暖めていましたが、近年は、家を一つの部屋と考えた暖め方が主流です。断熱材や、冷暖房器具の性能が年々上がり、間仕切りが少なくても、冬でも薄着で過ごせるほどの暖かさが保てるそうです。

　あたたかい家は、光熱費と寒暖差による体への負担も減らすことにつながります。オール電化住宅にもいち早く取り組み、今では省エネ住宅のスタンダードになりました。太陽光発電も、宮城のパイオニアとして約７００件の実績を数えるそうです。

　常に最先端の技術を取り入れ、ニーズの先にあるものを見極めてきたところに、菅原工務店の工夫があります。

　より便利に、「ちょっとあったらいいな」の気づきが、構造上の技術革新と結びつき、落ち着ける空間、家族であたたかさを共有できる、心の「あたたかさ」を生んできたともいえます。

　また、菅原工務店では、ショールームの開放や、地域イベントを開催しています。そこには、「家を建てる」だけではなく、地域に根差し、地域を楽しんで好きになってもらいたいという願いがあります。ショールームをカルチャー教室に使ってもらったり、起業に悩む人に場所を提供するなど、工務店の枠を飛び越えた取り組みも盛んです。

　たくさんの視点から考え、さまざまな取り組みを実践する菅原工務店は、地域とのつながりを大切に、さらに地域に根差した工務店として前進しています。

**安心な住まいへの思い　野村雄一さん**

　菅原工務店が太陽光発電事業を立ち上げて17年。当時は、同業者の中で先駆的な取り組みでした。

　総務部部長で太陽光・蓄電池を担当する野村さんにお話を伺いました。

「太陽光パネルと蓄電池は、組み合わせでエネルギーの自給自足が可能になります。初期コストがかかりますが、計画的に利用すれば、家計の負担を軽減できますし、何より、災害など万が一を考えると、安全・安心が一番の売りです。」と話してくれました。

**会社概要**

社　 名　株式会社 菅原工務店

代 表 者　代表取締役 菅原順一

所 在 地　古川旭一丁目10-24

開　 設　昭和47年

社 員 数　20人

事業内容　木造注文住宅、リフォーム、宅地建物取引業